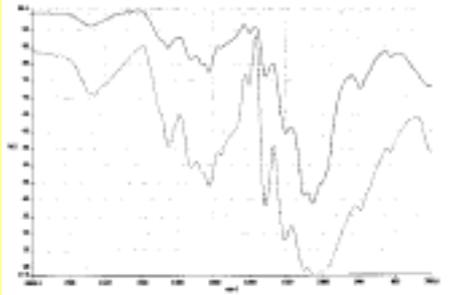


タイトル	錠剤表面の黒色異物を調べました。	
事例	有機系物質の赤外分光分析	
試験内容と結果	<p>錠剤表面の糖のコーティングの中から微小黒色物質を取り出し、赤外分光分析を行った結果、タンパク質であることが判った。錠剤の内部の成分には(白色の)タンパク質が使われており、これを測定したところ、同様の結果を得た。このタンパク質を取る原料には、白色部分と、表皮の黒色部分があるため、黒色部分が混入したのではないかと推察された。</p>  <p>(試験内容を分かりやすく説明するために、創作しています)</p>	
使用した装置	<p>赤外顕微分光光度計 (AutoIMAGE System: パーキン・エルマー製)</p>	
手数料 (平成21年)	・赤外分光分析	4,010円(1試料)
担当部署	機械電子研究所 機械システム課 076-433-5466	